世界大会を終えて

戸井田　珊風

十一月二十五日、二十六日に世界大会が行われました。そこで、型の部で優勝することができました。この大会では、予選型がいつも決勝で演武しているげき最小でした。そして、決勝型が、自由型でした。ぼくはその中で、最はを選びました。

ぼくは、今年の春に行われた全日本が終わってから最はを練習しました。最初は、中々うまくいきませんでした。でも、たくさんの先生方や、講習会にも参加し少しずつ上手になったと思います。他の大会でも、積極的に決勝で最はを演武するようにしました。予選のげき最も練習をしました。世界大会が近づき、強化稽古も行われました。型の百回稽古は、特にきつかったです。

世界大会当日、小学五、六年生の部は最後に行われました。待っている時は、いいきんちょう感でのぞむことができました。そして、

20 × 20

予選が行われました。会場のマットが、思っていたよりすべりやすかったので、よりいしきして型を演武しました。決勝では、予選の時よりかなりきんちょうしました。それでも優勝することができました。これが完璧ということではないので、さらに上を目指してがんばりたいです。

この結果が残せたのは、元基先生、山田先生を初め、たくさんの先生方、先輩や一緒に稽古してくれる仲間のおかげだと思っています。親に感謝をわすれることなく、さらに強くなれるよう、がんばりたいです。押忍

20 × 20